

【キャンドルファイヤー】

「自主活動」または「有料講師」



国立赤城青少年交流の家は持続可能な開発目標 (SDGs)を支援しています。
本プログラムでは重点項目を2つ設定しています。



内容

キャンドルファイヤーは、ろうそくの灯りを囲み、参加者が共通の火を囲んで一同に集い、仲間との気持ちをさらに一歩近づけるものです。火のぬくもりとともに仲間との親睦を深めたり活動をふりかえる時間を過ごしたりします。

活動に必要なもの

- 団体（個人）で用意するもの
 - ①ろうそく大 430 円（直径 3 cm×長さ 32 cm 燃焼時間 約 20 時間）
 - ②ろうそく小 30 円（直径 1 cm×長さ 14.5 cm 燃焼時間 約 1 時間 30 分）
 - ③ろうそく用の持ち手（アルミホイル等で作成）
- 交流の家で貸出可能なもの
 - ①アンプ ②CD プレーヤー ③マイク ④延長コード
 - ⑤燭台（※各会場の燭台の大きさは「キャンドルファイヤー燭台写真・サイズ一覧」参照）
 - ⑥燭台用ビニールシート（※燭台とセットで置いてあります。）

活動前の準備

- 入所の受付時に、実施場所や活動時間等の確認を行う。
- 講師を依頼した団体は、活動開始前に講師と打ち合わせを行う。
（※講師との打ち合わせ場所と時間は、事前に団体が講師と決定しておく。）
- 貸出希望物品を事務室へ取りに行く。
- 活動場所で、燭台や用具の準備を行う。

活動の流れ

【活動中】

- 会場までの移動時間等も考慮した上で、22時00分には終了できるように開始する。
（※交流の家としては決まった流れはありません。）

【活動終了後】

- フロアーに垂れたろうを取り、会場を元通りにする。
- 貸出物品を事務室に返却する。
- 片付けがすべて終了したら、活動終了の報告をする。



留意点

- R7年度まで、活動前に職員との打ち合わせを行っていましたが、R8年度より、打ち合わせは原則行いません。HP掲載の活動マニュアルを必ずご確認ください、不明点等ございましたら、交流の家までお問い合わせください。
- チャッカマン等、着火に必要なものについては、団体で準備をしてください。（交流の家からの貸し出しは行っていません。）
- 燭台の下には、ビニールシートを必ず敷いてください。
- やけど等に注意し、火の近くには近づかないように気をつけてください。
- 安全上、職員が中止の判断をすることがあります。